指 定 管 理 者 実 績 評 価 表(令和6年度実績)

高齢者支援課

施設名	養護老人ホーム白鷺園(ショートステイを含む) 白鷺園デイ・サービスセンター
指定管理者	社会福祉法人 江戸川豊生会
指定期間	令和6年4月1日~令和11年3月31日

評価(特記事項)	総合評価
・地震を想定した防災訓練を実施し、実際に非常時物資の使い方や発災経過後の訓練を行うことで、緊張感のある訓練を実施している。また、災害備蓄品はどの職員でも使用できるよう分かりやすく管理されており、近隣住民が避難してきた際の対応を検討するなど緊急時の対応に努め、入所者及び利用者が安全安心に利用できる施設運営を行っている。 ・地域交流の場として年間を通じた園庭開放を実施するほか、地域のイベントである「さくらまつり」の会場としても活用されており、地域交流の場として欠かせない施設となっている。また、園庭の維持管理においても利用者が楽しみながら季節を感じることができるようレクリエーション要素を取り入いれた園庭管理を実施している。 ・利用者の嗜好調査や食事の質を向上させるために事業者の変更を行っているほか、毎月1回以上イベントや季節に伴う献立提供を行うことで、利用者が楽しみながら食事ができるよう工夫しており、食事の満足度向上と利用者同士や職員とのコミュニケーション活性化に努めている。	A

区分	項目	評価観点	評価	個別の評価
Ⅰ市民の平等な	1 施設の設置目的・「公の施設」としての基本方針の確立及び施設目的の達成度 2 市民への事業広報活動等、市民の平等な利用の確保についての工夫	1 施設の設置目的に基づいた管理運営上の基本方針が確立して おり、職員が理解しているか。	Α	
		2 意欲的な管理運営がなされ、それを通じて施設目的を達成で きているか。	Α	
		1 市民の平等な利用が確保されたか。どのように工夫しているか。	Α	
		2 全ての利用者が等しく利用情報を得ることができるよう、適 切な情報提供を行っているか。	Α	
		1 建物・設備が適切に管理され、安全性の確保及び良好な機能 の保持が実現されているか。	Α	要求水準
		2 備品が適切に管理されているか。	Α	
	1 施設管理、安全対策 の内容の妥当性	3 清掃業務において、利用者が快適に利用できるような状態が 保持されているか。	Α	
		4 警備業務において、安全で安心感のある環境を確保しているか。	Α	
財管		5 外構施設の保守点検において、安全性が確保され、良好な機能が保持されているか。	Α	
以理 的を 能		6 植栽・樹木等の維持管理において、利用者が快適に過ごせる ような景観が保たれているか。	Α	
・ カ安 及-		7 3R(リデュース・リユース・リサイクル)を実践し、ごみ の減量に取り組んでいるか。	Α	
財政的能力及び人的能力の保有Ⅱ管理を安定して行う物的能力、		8 地球温暖化防止に係る取り組み(冷暖房温度設定・節水・節 電他)を実践しているか。	Α	
的能物	2 経済的(経営・収 支・資産等)に安定した 運営	1 経営的(収支・資産等)に安定しているか。	Α	
の能		2 仕様書に定められた、若しくは事業計画書のとおり開館しているか。	В	要求水準だが一 部課題がある
有力	3 適正な職員の配置	1 管理職を含む常勤職員及び非常勤職員の勤務実績、配置状況 は適切か。(仕様書の人員配置は満たされたか)	Α	
	4 個人情報の保護	1 個人情報の保護に対する体制が整っているか。	Α	要求水準
	5 緊急事態への対応策	1 事故防止のための体制の構築・取り組みを行っているか。	Α	
		2 事故発生時の対応体制が確立されているか。	Α	
		3 災害発生時の対応体制が確立しているか。	A+	要求水準を上回る

区分	項目	評価観点	評価	個別の評価
ш		1 利用しやすい受付案内を実施しているか。	Α	
		2 当該施設について、広報誌やPR誌を作成するなど、具体的な 取り組みを実施し、潜在的な利用者にアピールしているか。	Α	要求水準
		3 利用者の満足度を高める適切な接遇がなされているか。	Α	
		4 個々のサービスについて、対応職員によって格差が生じないよう、施設のサービス水準を確保するための取り組みを行っているか。 (研修計画は適切であったか。)	Α	
当 さ該 せ _佐	1 サービスの向上及び 利用者の増加等、施設の 効用を最大限に発揮させ	5 職員間で、適切に各種情報の共有化が実現されているか。	Α	
させる能力及び経費の縮減当該施設の効用を最大限に発	初用を取入版に光揮させ る取り組み内容	6 利用者が意見や苦情を述べやすい環境を整備しているか。	Α	
カ効 及用		7 利用者の意見や苦情等を受けて、迅速に対応できる体制を構築しているか。	Α	
を最		8 サービス全体に対する利用者の満足度を把握し、課題がある 場合には対応策を講じているか。	Α	1
の限縮に		9 利用者の望む自主事業を適切に実施しているか。独自の工夫 等はあるか。	Α	
減 ¹ 減 発 揮		10 地域との交流・連携に関する取り組みを実施し、地域交流 の支援を実施しているか。	A+	要求水準を上回る
J +		1 指定管理料は適正に執行されているか。	Α	
	2 管理運営経費の縮減	2 事業計画書等で示した利用料金収入の目標値がどの程度達成されているか。 (当初収支計画と実態の相違) または、収入一支出がプラスになっているか。	A	要求水準
		3 効率的な管理を目指し、経費節減の努力を行っているか。	Α	
利 IV 用施	1 施設の利用実績	1 施設利用者延べ人数	Α	
状設 況の		2 施設利用者一日平均人数	Α	
	1 提案事項	1 食事の提供について	A+	要求水準を上回る
		2 入浴について	Α	
		3 送迎について	Α	要求水準
		4 各種相談体制について	Α	
V 個		5 日常の健康管理や医療機関との連携について	Α	
別事項		6 衛生管理について	Α	
		7 地域振興について	Α	
		8 ボランティアの活用について	Α	
		9 国・県等の監査結果について	Α	
		1 O サービスの向上及び利用者の増加等、施設の効果を最大限に発揮させる取り組み内容となっているか	Α	

区分	項目	評価観点	評価	個別の評価
	1 市民(利用者)から 寄せられた具体的意見	1 寄せられた苦情の具体的事例及び対応	Α	
		2 特に多く寄せられた賞賛意見	Α	
VΙ	2 意見の反映	3 利用者の意見を聴き、どのように反映させているか	Α	要求水準
その他	3 施設管理者の意見	1 制度を導入して良かった点		メハハー
		2 制度を導入して悪かった点3 特に実施した指定管理者への指導	Α	
			4 現在抱える課題とその解決策(施設管理者所見)	

評価段階:A+~C 要求水準とは、協定書・仕様書及び事業計画書において求める運営管理の水準

A+	(要求水準を上回る) の数	3
Α	(要求水準と同等)の数	44
В	(要求水準だが一部課題がある)の数	1
С	(要求水準に至らない)の数	0